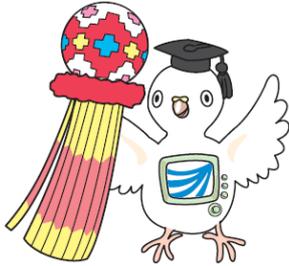


ハロー・キャンパス



第114号

放送大学宮城学習センター

TEL 022-224-0651

FAX 022-224-0585

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp

放送大学 URL <https://www.ouj.ac.jp/>

宮城学習センターURL <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/miyagi/>



宮城学習センターにお越しの際は、マスクを着用し
入室時は必ず手指のアルコール消毒をお願いいたします。

【目次】

- ❖ 新任教員の紹介・・・・・・・・・・P1
- ❖ 事務室からのお知らせ・・・・・・・・P2
- 学習センター移転について
- 図書室からのお知らせ
- ❖ 次学期の手続きについて・・・・・・・・ P3
- ❖ システム WAKABA の利用方法・・・・・・・・P4
- ❖ 2019年度第2学期卒業生のことば・P5
- ❖ キャンパススケジュール・・・・・・・・P7



「新任教員の紹介」

客員教授 さとう のぶひろ
佐藤 伸宏

本年度より客員教授として勤務することとなりました佐藤伸宏と申します。よろしくお願ひいたします。

私はこれまで日本文学、とくに詩歌を中心に日本の近代文学について考え続けてきました。改めて言うまでもなく、私たちの日常は言葉で書かれたもの、すなわち無数の言語テキストに取り巻かれています。しかしそうした中で、文学はやはり文学としての固有の魅力を持った存在であると感じられる。他の言語テキスト、例えば新聞記事や教科書、研究論文などとは異なる何かとして文学は存在しています。同じ言葉で作られながら、文学、詩や小説は何故そうした独特の何かをもたらすのか、言い換えれば文学とは言葉のいかなる働きによって固有の存在として成立することになるのか、——そうした問いについて考えることが私の最も大きな課題に他なりません。

春の岬旅のをはりの鷗どり

浮きつつ遠くなりけるかも（「春の岬」）

三好達治の第1詩集『測量船』（昭和5年12月）の巻頭に置かれた作品です。短歌の形式を備えた二行詩ですが、一読するや極めて鮮明な映像が浮かび上がってきます。そうした鮮やかな映像は、この一篇を織りなす個々の言葉の様々な働きによって生み出されていることは言うまでもありません。初句「春の岬」の六音の字余りがもたらすリズムの中断、一行目を構成する二つの名詞句の持つ完結性は、ともにイメージの強度を高める働きをしています。また「浮きつつ遠く」とは、風に身をゆだねて浮かび漂いつつ次第に遠離っていく鷗の姿を描き出していますが、それは続く「なりにけるかも」というゆったりとした調べと見事に調和しているでしょう。更にこの短い二行詩の中で「遠くな」という表現は「旅のをはり」という詩句と意味上の響き合いを形成しています。遠離ることと終わりを迎えること、この両者が時間と空間の枠を越えて一つに結びつくことによって、「遠くな」る鷗の姿に「旅のをはり」、遠離りゆく旅の時間が重なり合うこととなります。こうしてこの詩は、直接語り出していることは僅かであるにもかかわらず、一つ一つの言葉が多様に働き、また相互に関わり合う中で、大きな広がりや奥行きを備えた豊かな世界を私たちの内に呼び起こすのだと思います。私たちの日常生活において言葉は専ら意味を伝えることを軸としたコミュニケーションの道具として用いられていますが、文学の言葉は、言葉が本来的に備えている多様な機能を存分に活かすことによって、固有の豊かさを生み出していると言ってよいでしょう。こうした言葉の働きに丹念に分け入りながら、文学の魅力やすばらしさについて、これから皆さんと話し合っていくことができると考えております。その他、日本と西洋の文学的交流や翻訳の問題等の領域にも関心を持っていますので、是非遠慮なくご相談等にお越しいただければと存じます。何卒よろしくお願ひいたします。

学習センター移転について

2018年（平成30年）9月より従来利用しておりました建物の耐震補強工事を行っていましたが、工事完了のめどがつき、今年9月に、戻ることになりました。移転の日程等は改めてお知らせいたしますが、その期間中は閉所となり、みなさまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



《所在地》
〒980-8577
仙台市青葉区片平 2-1-1（東北大学片平キャンパス内）
TEL：022-224-0651 FAX：022-224-0585

仮設校舎より北へ徒歩約10分
市営、宮城交通バス停「片平丁小学校前」から徒歩約3分
地下鉄東西線「青葉通一番町駅」から徒歩約15分

《駐車スペース》

駐車できる台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

※毎年、9月に行われておりました「学生研修旅行」「所長杯囲碁将棋大会」は学習センター移転に伴う臨時閉所のため中止とさせていただきます。

図書室からのお知らせ

感染症予防対策の一環として、視聴室で放送教材（DVD・CD）やタブレットを利用して放送授業を視聴する場合は、できるだけご自身でイヤホンを用意してください。



また、ビニールカーテン設置や、視聴室・自習室の座席の間引き、常時換気等の感染防止対策をいたしております。ご協力をお願いいたします。

宮城学習センターでは、センター所蔵図書の貸し出しを受け付けています。

2020年度の新着図書は禁帯シールが付いていますが、ご自宅への貸し出しが可能です。一部貸し出しの出来ない図書には、図書カードに赤で禁帯の押印がありますのでそちらでご確認をお願いします。

他学習センターからの配置換え図書が入りました。どうぞ、ご利用ください。

- ・新日本古典文学大系・萬葉集研究・新編国歌大観・國書聴目録・尊卑分脈
- ・古典籍総合目録・明治東京逸聞史・中国小説史略・(新) 校本宮沢賢治全集 です。



次学期の科目登録・継続入学の案内が7月中旬頃に届きます。
 科目登録申請・継続入学出願の際は、必ずお読みください。

2020年10月以降も学籍が続く方

- ・全科履修生
 在学期間と学生証の有効期限が異なる場合がありますので、在学期間をご確認ください。
- ・2020年4月入学の選科履修生

2020年9月末で学籍が切れる方

- ・2020年9月末で卒業または、
 在学期間満了となる全科履修生
- ・2019年10月入学の選科履修生
- ・科目履修生

科目登録申請

【郵送】

「科目登録申請票」に受講する科目を記入
 8月15日（土）～8月30日（日）必着

【システム WAKABA】

「教務情報⇒科目登録申請」から登録
 8月15日（土）9時～8月31日（月）24時まで

今学期の単位認定試験が不合格、未受験の方

2020年度第1学期に新規に登録した科目は、
 科目登録を行わなくても再試験を受験できます。

継続入学出願

【郵送】

「継続入学用出願票」の表面に記載済みの本学登録情報を確認し、裏面に受講する科目を記入
 ※全科履修生へ出願する方は、過去に全科履修生として在学したことがない場合は「継続入学用出願票」で出願ができません。一般用の「出願票他提出書類セット」内の出願票をご利用ください。
 9月15日（火）必着

再試験のみ希望の方

出願票裏面の『再試験受験資格を得るためだけの出願ですか?』の「はい」に○を記入

【システム WAKABA】

「教務情報⇒継続入学申請」から登録
 9月15日（火）17時まで
 科目登録期間中（8月15日～8月31日）にシステム WAKABA で出願を行うと面接授業の科目登録ができます。（募集要項 P6）

科目登録申請要項

※教養学部は緑
 大学院はオレンジです。

継続入学用出願票

※教養学部はオレンジ
 大学院は緑です。

システム WAKABA



システム WAKABA の利用方法

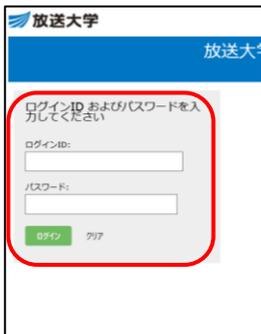


システム WAKABA は、学籍情報、過去 2 回分の単位認定試験問題・解答の閲覧等、さまざまな機能があります。大学からのお知らせも確認できますので活用してください。

放送大学のホームページを開く



ログイン ID、初期パスワードは入学許可書に記載されています。
不正利用防止のため、初期パスワードは、必ず変更してください。
(8文字以上 英字(大小問わず)数字を1文字以上含むこと)
パスワードを忘れた方は、宮城学習センターまで、ご連絡ください。



ログイン



【パスワード変更】
初期パスワードの変更ができます。

【学生カルテ】
学籍情報の他、単位修得状況情報などの閲覧ができます。

【変更・異動手続】
住所等の変更手続きはこちらから申請できます。
転居後は郵便局にも『転居届』を提出してください。

【Web通信指導】
通信指導の提出ができます。

【放送授業インターネット配信】
放送授業の視聴ができます。

【単位認定試験問題・解答等】
過去 2 回分の問題・解答が閲覧できます。





卒業生のことば



2019年度第2学期は、
修士課程10名の方が修了、教養学部55名の方が卒業されました。
皆さまおめでとうございます。

今野 正巳さん
人文学プログラム修了



謝辞

今般、私達は修士課程を修了し、この日を迎えることが出来ました。今日までご指導いただきました先生方、大学関係者の方々に、修士生一同心より感謝と御礼を申し上げます。向学心に燃え、高鳴る興奮を内に秘めながら入学し、キャリアも年齢もまちまちの仲間と出会うことができた放送大学という学びの場は、實に刺激的であり、かけがえのない貴重なものでした。

私は67歳の時、宮城学習センターに教養学部「人間と文化コース」の全科履修生として入学しました。授業について行けるのか、卒業まで続けられるのか心細いスタートでしたが放送授業、面接授業が始まるにつれ、その内容は感動の連続でした。放送大学に入学するまでは大学生活は夢の世界であり、ましてや大学院など考える事も出来ませんでした。学部の学習で『学びの楽しさ』を痛感し、できれば大学院での勉強を渴望するようになりました。

大学院での研究テーマは自分の生活に直結したものを検討しました。私は、父の跡を継ぎ、鍛冶屋となり、以来五十数年、時代の波に翻弄されながら生きてきました。そんな生活の中で、景気の良し悪しに関わらず一貫して継続してきたのが『ふいご祭り』です。『ふいご祭り』とは、11月8日に鍛冶関係者が何処でも行っている由緒ある内祭りで、これを研究テーマとし、歴史的観点を縦軸に、民俗学的観点を横軸に考察する事にしました。まずは参考文献、資料を収集し、元鍛冶屋だった方々の聞き取り調査をしました。その作業の中で様々な疑問や興味深い問題に出会い、迷路に入り込みそうになり、先行研究の論文が自分の考えのような気になることもありました。そんな時、研究指導の稲村教授の適切なアドバイスを受けて、軌道を修正して何とか期間内にまとめることができました。

宮城県丸森町という教育環境から隔絶されたような地域で、洪水被害に遭遇するという事もありましたが、働きながら大学院生として学び、修士論文にチャレンジした日々は、充実感にあふれ感動に満ちた時間でした。その間、家族や友人、学習の仲間による大きな支えがありました。これからはお世話になった方々や地域社会に何らかの貢献が出来ればと思っております。

最後に、放送大学の益々の発展と、先生方、関係者の皆様の御健勝を祈念し、修士修了生総代としての謝辞とさせていただきます。

宮城学習センター所属「人文学プログラム修了」の今野正巳さんが総代謝辞に選ばれ、寄稿していただきました。

松山 歩さん

心理と教育コース

資格を取るのに何単位か必要で、2010年に科目履修生になった。歴史ある瀟洒な建物の中に入れる光栄と気おくれが懐かしく思い出される。

震災、資格試験、子育ての合間のやっつけ勉強で、至らなさが身にしみ、学部生になった。一流の先生の面接授業、他コースの科目も履修できて良かった。

マイペースに続けられた事に感謝、またいつの日か……そんな思いが胸にある。

赤間 清子さん

人間と文化コース

「レジリエンスの諸相」、「生活ガバナンス研究」、「生活リスクマネジメント」を受講し、立て続けに起こる災害に対して、東日本大震災の経験がいかんにか活かせていないかを猛省しているさなかに、期せずしてコロナへの応用となった。見えない恐怖は原発事故にも重なるが、ウイルスと共生と捉えればおのずととるべき距離が見えてくるのではないかと。ヒントを与えてくれた放送大学に感謝である。

齋藤 けさよさん

社会と産業コース

私は3月で卒業を迎えることができた。第2学期の試験の結果発表を待たないと分からないと思っていた。卒業認定の通知が届いた時は嬉しかった。

次年度の科目登録の仕方が違い大変慌てた。気が付いた時、締め切りが迫っていた。学習センターに相談した。インターネットからなら間に合うと言われた。メディアを通して学ぶ大学なのに、システムWAKABAから申し込むのは初めて。四苦八苦して、何度も学習センターに電話で指導を受けてやっと申し込めた。「本当にありがとうございました。感謝します」

新型コロナウイルスの感染予防で本部も学習センターでも卒業式が行われないのは、残念だった。令和2年3月28日(土)放送大学学生課より卒業証書学位記が届いた。「本当に卒業できたんだ」と実感した。

3月30日(月)合格通知書と納付書が届いた。早速納付した。

佐々木 松太郎さん

生活と福祉コース

退職後に放送大学に入学し、卒業を目指しました。特に面接授業においては東北6県の学習センターを回り、先生方が取組まれている専門分野を学ぶことができました。また、すばらしい仲間に出会い、刺激を受けたことが、自己啓発の源です。これからも続けていこうと思います。

は閉所日（月曜日・祝日）

7 月 

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

〈7月〉

14日 教員免許更新講習インターネット配信開始
14日～21日 単位認定試験期間

・単位認定試験認定試験の日程変更に伴い、7月23日（海の日）は閉所、7月25日、26日は開所いたします。

 8 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

〈8月〉

9日 臨時閉所(停電)
12日 司書教諭集中科目通信指導提出期限(必着)
13日～15日 臨時閉所
15日 2020年度2学期科目登録申請受付
郵送～30日 Web～31日(24時)まで
31日 2020年度第2学期出願 第1回締切
〔大学院(選科・科目履修生)/教養学部〕

9 月 

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

〈9月〉

15日 2020年度第2学期出願 第2回締切
〔大学院(選科・科目履修生)/教養学部〕

・9月27日に予定しておりました、入学者の集い・学位記伝達式・卒業祝賀会は中止になりました。また、27日は開所いたします。

・8月31日から9月22日まで、移転作業のため、センターは臨時閉所いたします。

なお、図書室・視聴学習室は、移転作業のため9月30日まで休止し、10月1日から利用可能です。

公開講演会を開催いたします

2020年10月10日(土) 14:00～(受付 13:30)

場所：宮城県図書館

講師：東北大学名誉教授 放送大学宮城学習センター客員教授

石幡 直樹先生



入場無料ですが、事前申し込みが必要です。

お申込、お問合せは宮城学習センターへ電話またはメールでお願いいたします。